

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2010-222971

(P2010-222971A)

(43) 公開日 平成22年10月7日(2010.10.7)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード(参考)
<b>E 0 6 B</b> 1/70 (2006.01)	E 0 6 B 1/70 Z	2 E 0 1 1
<b>E 0 6 B</b> 7/26 (2006.01)	E 0 6 B 7/26	2 E 0 3 6

審査請求 有 請求項の数 1 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2010-132171 (P2010-132171)  
 (22) 出願日 平成22年6月9日(2010.6.9)  
 (62) 分割の表示 特願2009-132630 (P2009-132630)の分割  
 原出願日 平成19年11月15日(2007.11.15)

(71) 出願人 000175560  
 三協立山アルミ株式会社  
 富山県高岡市早川70番地  
 (74) 代理人 100136331  
 弁理士 小林 陽一  
 (72) 発明者 竹林 裕之  
 富山県高岡市早川70番地 三協立山アルミ株式会社内  
 Fターム(参考) 2E011 MA01 MA03  
 2E036 RA08 RA10 RC02 TA02 TA07  
 TB02 UA01

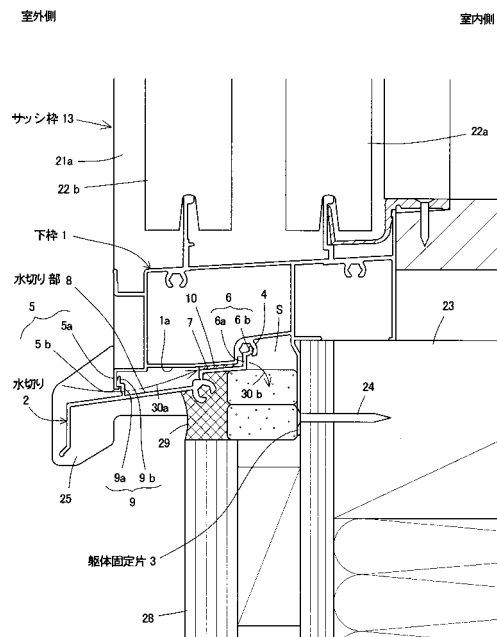
(54) 【発明の名称】 サッシ

(57) 【要約】

【課題】 水切りを下枠に簡単にしかも安定して取付けることができ、躯体への雨水の浸入を確実に阻止できるサッシの提供。

【解決手段】 下枠1と、下枠下面1aに取付けた水切り2とを備え、下枠1は、下面1aより下方に垂下する躯体固定片3と、躯体固定片から室外側に離間した位置の下面に設けたタッピングホール4と、下面の室外側端部に設けた被係止部5とを有し、水切り2は、室内側端部に設けた室内側係止片6と、下枠よりも室外側まで張出す水切り部8と、水切り部の上面に突設した室外側係止片9とを有し、室内側係止片6を下枠のタッピングホール4内に下方より係止し、室外側を持ち上げるように回転して室外側係止片9を下枠の被係止部18に係止して下枠に取付けている。

【選択図】 図1



4: タッピングホール 7: 当接部  
 5: 被係止部 9: 室外側係止片  
 6: 室内側係止片 10: 防水テープ

**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

下枠と、下枠下面に取付けた水切りとを備え、下枠は、下面より下方に垂下する躯体固定片と、躯体固定片から室外側に離間した位置の下面に設けたタッピングホールと、下面の室外側端部に設けた被係止部とを有し、水切りは、室内側端部に設けた室内側係止片と、下枠よりも室外側まで張出す水切り部と、水切り部の上面に突設した室外側係止片とを有し、室内側係止片を下枠のタッピングホール内に下方より係止し、室外側を持ち上げるように回動して室外側係止片を下枠の被係止部に係止して下枠に取付けていることを特徴とするサッシ。

**【発明の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

本発明は、下枠下面に水切りを取付けたサッシに関する。

**【背景技術】****【0002】**

従来のサッシにおいては、サッシ枠から流れ落ちる汚れた雨水が外壁にかかり、外壁が汚れるのを防止するため、下枠の下方に水切りを取付けることがある。従来の水切り 90 は、図 8 に示すように、下枠 91 の下面 91 a と間隔を開けた状態で躯体 92 の室外側にビス止めして取付けていたので（例えば、非特許文献 1 参照。）、図中に矢印 93 で示すように、強い雨風のときには雨水が水切り 90 上面を伝って躯体 92 まで浸入する不都合があった。

**【0003】**

また他の従来例として、図 9 に示すように、下枠 91 の下面 91 a に水切り 90 を取付けたものもある。この水切り 90 は、中空板状の本体部 90 a と、本体部の室内側端部より室内側に階段状にのびる当接部 90 b とを有し、本体部の上面に突設した鉤形の係止片 90 c を下枠の室外側端部 91 b に引っ掛け、当接部 90 b 上面と下枠下面 91 a を両面テープ 94 で接着して取付けている。この水切り 90 の取付け方は、当接部 90 b 上面に両面テープ 94 を予め貼り付けておき、図中に仮想線で示すように水切りを傾けた状態で係止片 90 c を下枠の室外側端部 91 b に引っ掛け、その係止部を支点到当接部 90 b が持ち上げるように水切りを回動し、両面テープ 94 を下枠下面 91 a に圧着するものである。この水切りは、下枠との係止部が一箇所しかないため取付状態が非常に不安定であり、そのため両面テープ 94 が剥がれて下枠下面 91 a と当接部 90 b 上面との間に隙間が開くおそれが高い。また、当接部 90 b が下枠の躯体固定片 91 c までのびているので、図中の矢印 93 に示すように、当接部 90 b 上面と下枠下面 91 a の隙間に雨水が浸入すると、雨水 94 が躯体 92 へと浸入するおそれがある。

**【非特許文献 1】**三協立山アルミ株式会社発行のカタログ「和風サッシ 秀峰テラス・桧」（カタログ No. STJ0169A Y.07.01-090）、第 1 版、2007 年 1 月、p. 181（水切・水切キャップ納まり参考図）

**【発明の開示】****【発明が解決しようとする課題】****【0004】**

本発明は以上に述べた実情に鑑み、水切りを下枠に簡単に取付けることができると共に、躯体への雨水の浸入を確実に阻止できるサッシの提供を目的とする。

**【課題を解決するための手段】****【0005】**

上記の課題を達成するために請求項 1 記載の発明によるサッシは、下枠と、下枠下面に取付けた水切りとを備え、下枠は、下面より下方に垂下する躯体固定片と、躯体固定片から室外側に離間した位置の下面に設けたタッピングホールと、下面の室外側端部に設けた被係止部とを有し、水切りは、室内側端部に設けた室内側係止片と、下枠よりも室外側まで張出す水切り部と、水切り部の上面に突設した室外側係止片とを有し、室内側係止片を

10

20

30

40

50

下枠のタッピングホール内に下方より係止し、室外側を持ち上げるように回動して室外側係止片を下枠の被係止部に係止して下枠に取付けていることを特徴とする。

【発明の効果】

【0006】

請求項1記載の発明によるサッシは、水切りを下枠下面に取付ける際、室内側係止片を下枠のタッピングホール内に下方より係止し、室外側を持ち上げるように回動して室外側係止片を下枠の被係止部に係止することで、水切りを下枠下面に簡単に取付けることができる。また、下枠のタッピングホールが躯体固定片から室外側に離間した位置に設けてあり、水切りの室内側端部に設けた室内側係止片と躯体固定片との間に間隔があるため、万が一、下枠下面と水切りの間から雨水が浸入したとしても、躯体まで雨水が浸入することがない。

10

【発明を実施するための最良の形態】

【0007】

以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて説明する。図3は、本発明のサッシの第1実施形態（請求項1記載の発明の実施形態）を示す室外側正面図であり、図1は図3のA-A断面図、図2は図3のB-B断面図である。本サッシは、引違い窓の場合の実施形態であって、図3に示すように、上枠20と下枠1と左右の縦枠21a, 21bを枠組みしてサッシ枠13が形成され、サッシ枠13内に内障子22aと外障子22bが上下枠20, 1の長手方向に設けたレールに沿って左右方向に移動自在に収納してある。下枠1の下面には水切り2が取付けてある。

20

【0008】

サッシ枠13は、いわゆる半外付けタイプとなっており、下枠1は、図1に示すように、下面1aの室内側に下方に垂下した躯体固定片3を有し、躯体固定片3を躯体23の室外側面に当接してビス24で固定している。下枠の下面1aの躯体固定片3から室外側に離間した位置には、タッピングホール4が形成してある。タッピングホール4は、下面側がスリット状に開口している。下枠の下面1aの室外側端部には、水切り2の室外側係止片9が係止する被係止部5を有している。被係止部5は、縦片5aと、縦片5aの先端部より室内側に突出した横片5bとで鉤状に形成してある。

【0009】

水切り2は、図1と図4に示すように、室内側端部に下枠1のタッピングホール4に係止する室内側係止片6を有している。室内側係止片6は、縦片6aの先端部室内側に略1/4円弧状に曲がった突片6bを形成したものとなっており、突片6bの室内側面には突部6cが設けてある。室内側係止片6の室外側には、下枠下面1aへの当接部7を有している。当接部7の上面と下枠下面1aの間には、防水テープ10が設けてある。防水テープ10は、上下面に接着面を有し、下枠下面1aと当接部7上面に接着しており、下枠下面1aと当接部7上面の間から雨水が浸入するのを防止している。当接部7の室外側には、下向きに傾斜して室外側に張出した水切り部8を有している。水切り部8は、図2に示すように、下枠1よりも室外側まで張出すと共に、左右の縦枠21a, 21bよりも側方に張出している。また水切り部8は、当接部7より一段低くなっている。水切り部8の上面には、図1と図4に示すように、下枠1の被係止部5に係止する室外側係止片9を有している。室外側係止片9は、縦片9aの先端部室外側にL形の突片9bを形成したものとなっており、突片9bが下枠1の被係止部5の室内側に係止している。突片9bは、先端部の室外側を斜めに面取りしてある。

30

40

【0010】

水切り2の左右両端部は、図2と図5に示すように、縦枠21a, 21bとの干渉を避けるために、室内側係止片6と当接部7と室外側係止片9とが切り欠かれている。水切り2の左右両端部には、キャップ25がネジ26で取付けてある。図6は、本サッシの下部のコーナー部を示しており、図中に仮想線27で囲ったサッシ枠13コーナー部と水切り2の間の隙間はシール材でシールされる。また図1に示すように、水切り2の下面と外壁28との間の隙間は、シール材29によりシールしている。

50

## 【 0 0 1 1 】

次に、水切り 2 の下枠 1 への取付け方を説明する。水切り 2 は、図 5 に示すように、当接部 7 に長手方向の全長に亘って防水テープ 10 を予め貼り付けておき、取付け時に防水テープ 10 上面の剥離紙を剥がして接着面を露出させる。その後、図 7 に示すように、水切り 2 を室内側部分が高くなるように傾けた状態で、室内側係止片 6 を下枠 1 のタッピングホール 4 内に下方より差し込んで係止させる。その後、その係止部を支点にして室外側部分を持ち上げるように水切り 2 を回動させると、室外側係止片 9 が下枠 1 の被係止部 5 の室内側に弾発的に係止し、同時に防水テープ 10 が下枠下面 1 a に接着する。

水切り 2 は、このようにして下枠 1 に簡単に取付けできる。しかも水切り 2 は、室内側係止片 6 と室外側係止片 9 の二箇所が下枠 1 のタッピングホール 4 と被係止部 5 とに室内外方向に突っ張るように係止しており、尚且つ当接部 7 が下枠下面 1 a に防水テープ 10 を介して接着されるため、安定して下枠 1 に取付けできる。さらに室内側係止片 6 は、図 4 に示すように、突片 6 b の先端部 6 d と突部 6 c と根元部 6 e の 3 点でタッピングホール 4 内を室内外方向に押し広げるように圧接して、タッピングホール 4 内で突っ張るような形で嵌合し、これにより水切り 2 の取付けの安定性がより一層高められる。

## 【 0 0 1 2 】

本サッシは、上述のように下枠下面 1 a に水切り 2 が取付けてあるため、サッシ枠 1 3 から流れ落ちる雨水は水切り 2 上面を伝って外壁 2 8 から室外側に離れたところに落ちるので、外壁 2 8 にサッシ枠 1 3 からの汚れた雨水がかかるのを防ぎ、外壁 2 8 が汚れるのを防止できる。また、図 1 中に矢印 3 0 a で示すように、下枠下面 1 a と水切り 2 上面との間から浸入しようとする雨水は、防水テープ 10 により室内側への浸入が阻止される。万が一、防水テープ 10 を超えて雨水が浸入した場合でも、水切り 2 の室内側端部（室内側係止片 6）と下枠 1 の躯体固定片 3 との間に間隔 S を設けてあるので、雨水は図中の矢印 3 0 b で示すように躯体固定片 3 の手前で落下し、躯体 2 3 まで雨水が浸入することがない。

## 【 0 0 1 3 】

本発明は以上に述べた実施形態に限定されない。水切りの室外側係止片、室内側係止片や、これらが係止する下枠の被係止部の形状は、適宜変更することができる。水切りは、サッシ枠を躯体開口部に取付けた後に下枠に取付けてもよいが、サッシ枠を躯体開口部に取付ける前に下枠に予め取付けておくこともできる。防水テープは、水切りの当接部上面に予め貼り付けておくのではなく、下枠下面に予め貼り付けておくこともできる。窓の種類は、引違い窓やたすべり出し窓に限らず、あらゆる種類の窓に適用できる。

## 【 図面の簡単な説明 】

## 【 0 0 1 4 】

【 図 1 】 図 3 の A - A 断面図である。

【 図 2 】 図 3 の B - B 断面図である。

【 図 3 】 本発明のサッシの第 1 実施形態（引違い窓）を示す室外側正面図である。

【 図 4 】 第 1 実施形態のサッシの水切りの取付部分を拡大して示す縦断面図である。

【 図 5 】 水切りの斜視図である。

【 図 6 】 サッシ下側のコーナー部を室外側から見た斜視図である。

【 図 7 】 第 1 実施形態の水切りの下枠への取付け時の状態を示す縦断面図である。

【 図 8 】 従来の水切りの取付状態を示す縦断面図である。

【 図 9 】 従来の水切りの他の例を示す縦断面図である。

## 【 符号の説明 】

## 【 0 0 1 5 】

- 1 下枠
- 1 a 下枠下面
- 2 水切り
- 3 躯体固定片
- 4 タッピングホール

10

20

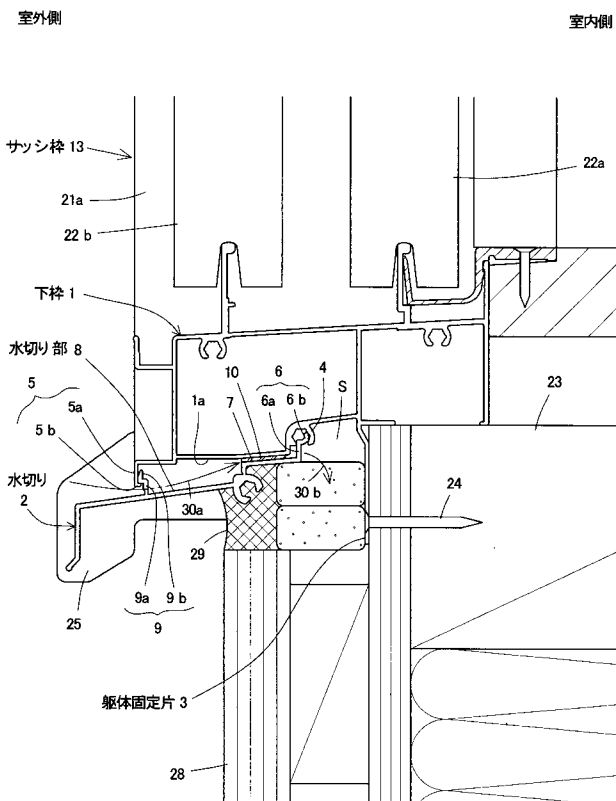
30

40

50

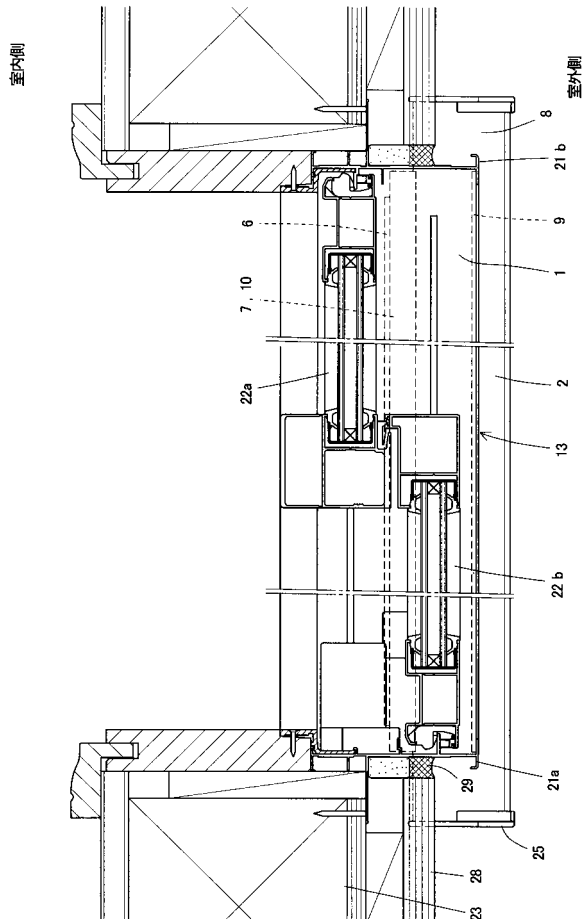
- 5 被係止部
- 6 室内側係止片
- 7 当接部
- 8 水切り部
- 9 室外側係止片
- 10 防水テープ
- 13 サッシ枠

【 図 1 】

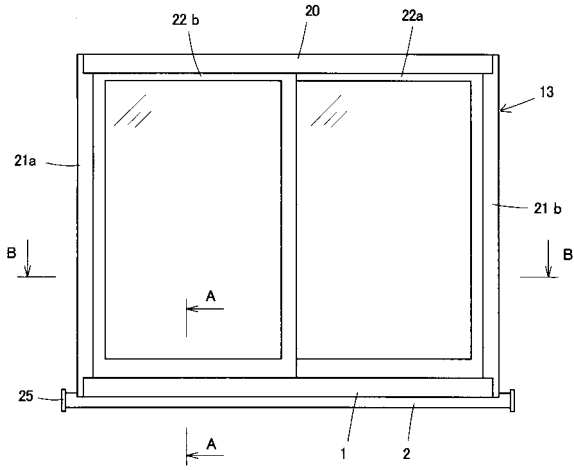


- 4: タッピングホール
- 5: 被係止部
- 6: 室内側係止片
- 7: 当接部
- 9: 室外側係止片
- 10: 防水テープ

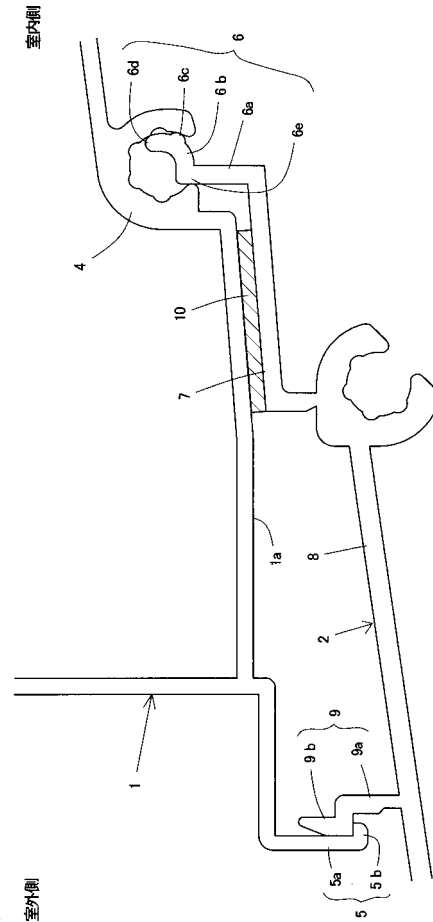
【 図 2 】



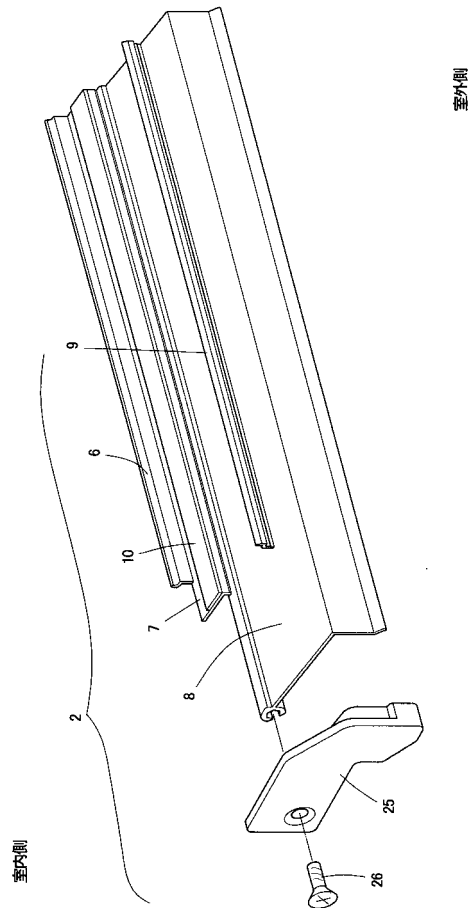
【 図 3 】



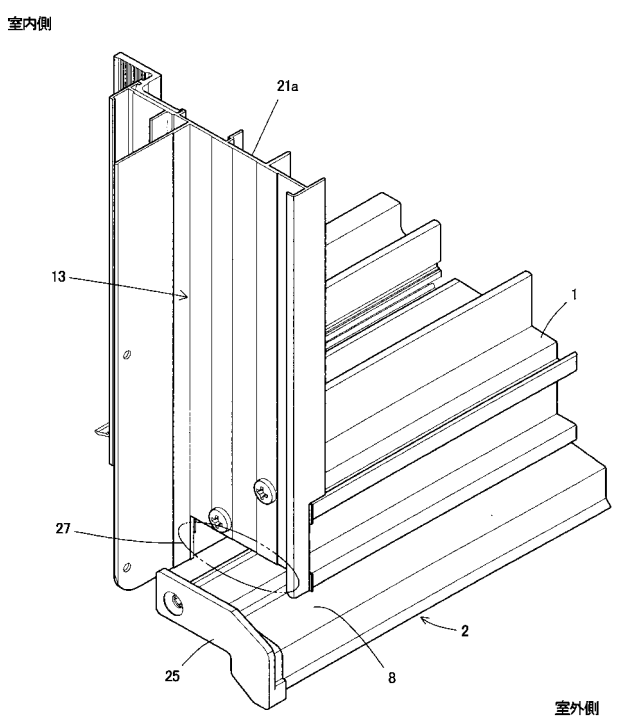
【 図 4 】



【 図 5 】

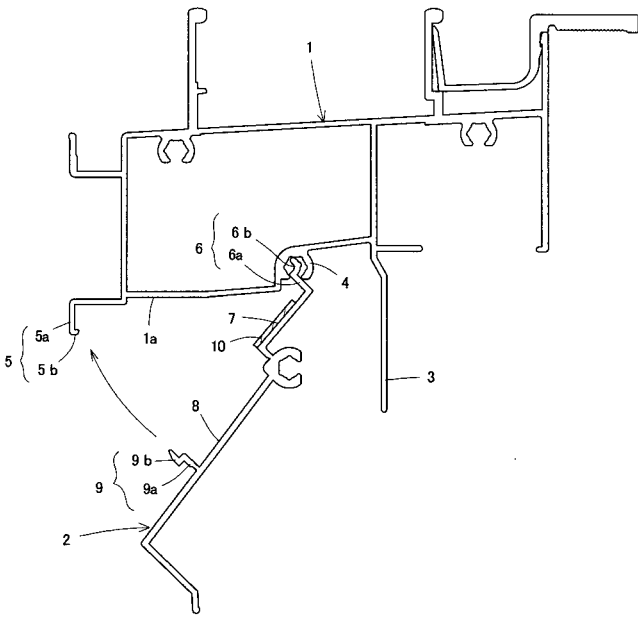


【 図 6 】



【 図 7 】

室外側

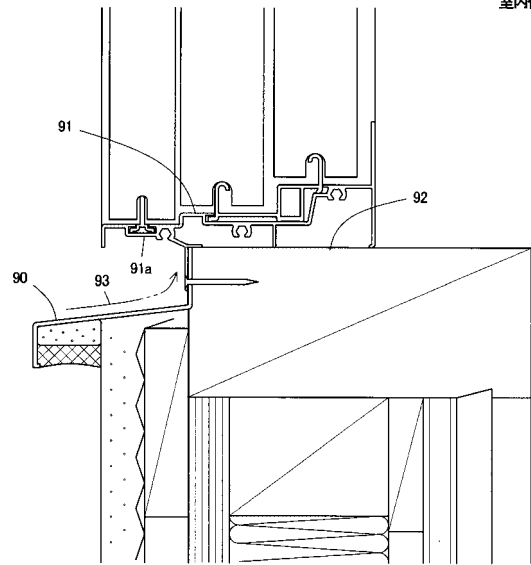


【 図 8 】

室内側

室外側

室内側



【 図 9 】

室外側

室内側

